

隣保館だより

編集 下榎隣保館
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp

新年度スタート！ ～今年度もどうぞよろしくお祈りします～

昨年度は新型コロナウイルス感染症に伴う活動の中止や縮小となる場面が多くありましたが、現状は少しずつ緩和されてきています。今年度も状況を見ながら活動に取り組みます。

職員のスキルアップを図り、皆さんの声に耳を傾け寄り添う相談者であること、気軽に立ち寄れるコミュニティの場所として活動を継続していきますので、ご協力をお願いします。

4月から、館長は飛田朋伸さん、生活相談員は西村一成さんです。よろしくお祈りします。

隣保館の活動を紹介します！

老人憩の家事業

下榎地区と近隣地区自治会を中心に、憩の家を開放し、誰でも気軽に集える場所を目指します。毎週木曜日、「いきいき百歳体操」を開催しています。お気軽にご参加ください。

学習講座

「生け花」「手芸」「料理教室」など、生活に密着した講座を開きます。どなたでも参加できますので、ふるってご参加ください。

貸し館事業

下榎集会所、老人憩の家の各施設を利用できます。▶利用料：1時間 100円～150円

学習会事業

地域の児童・生徒がこれまでの歴史や自分たちが関心を持った課題について学習し、差別に負けない力をつけるために、「人権学習」「地域学習」など、毎週1回学習会を開きます。

相談事業

高齢者問題など、生活の上での困りごと、心配ごとなどの相談を受け付けています。各専門機関と連携し、問題解決に取り組みます。なお、相談内容は堅く守られます。安心してご相談ください。

▶詳しくは下榎隣保館までお問い合わせください。
(電話番号：72-1191)

ぽかぽか教室 「認知症予防教室」

3月2日、「人生100歳時代の認知症とのつきあい方」と題して、吉野立さん（認知症の人と家族の会鳥取県支部代表）のお話を聞きました。

「認知症」とは、一度獲得した知的機能（記憶、認識、判断、学習など）が低下し、自分や周囲の状況把握・判断が不正確になり、生活の中で不都合な状況が6カ月以上継続している状態のことをいいます（記憶障害、覚えることが難しくなる）。同じことを何度も聞いたり、思い出しにくくなる（もの忘れ）のは老化現象であって、認知症ではありません。認知症は早い時点での「気づき」が大切で、認知症になっても希望をもって生き、本人が安心できる環境が必要です。

家族は、本人と家族を支えてくれる人たちや助け合える仲間をたくさん作る事が大切です。病気のことを隠さず、地域の人も含め同じ方向を向いて協力・援助してくれる人をたくさん作る事。一人で

抱え込まないことが重要です。

認知症になると、「痛みを感じない」「暑い・寒いなどの感覚が鈍る」そういう特性があることを知っていれば、認知症の人との付き合い方が変わってきます。

老化を受け入れながら元気で暮らすために、次のことに気をつけましょう。

- ①生活習慣に気をつけ、適度な運動、バランスのとれた食事、社会とのつながり、朝太陽の光を浴びる、こちよ睡眠、口腔ケアへの気配り
- ②気を付けたい病気：糖尿病・高血圧などの生活習慣病と聴力低下
- ③認知症の良い情報を得る（知識）

元気で楽しみを待っていると、認知症の進行が緩やかになります。人生100歳時代を生きるために、日ごろから楽しみを見つけていきましょう。

農業委員会だより No.99

令和4年度第1回

日野郡女性農業委員研修

女性農業者は、地域の発展などに重要な役割を担っています。

女性が経営に参画している経営体ほど収穫が向上する傾向にもあるようです。また、近年は農業委員会活動に参画する女性も増えてきました。

このような中、3月15日に日野郡農業委員会女性研修会を開催し、日野郡3町から5人の

女性委員が参加しました。

研修会では鳥取市農業委員会会長の濱田香さんを講師に迎え、「女性委員に期待されること。委員として日頃思っていること」と題し、農業委員会制度や日ごろの活動で普段思うことや地域計画など、これから始まる新しい取り組みについて、意見交換を行いました。

出席した委員からは、「毎月総会があるが、内容や言葉の意味が分かりにくくて苦労している」「会議ではなかなか発言しにくいときもある」といった意見がありました。

午後は、農産物直売所「みちくさ」の活動について、代表の三輪典子さんが紹介しました。日ごろ活動する中での苦労話や生産者とのつながりについて、



▲農業委員会の活動について発表する濱田会長



▲「みちくさ」の活動について紹介

ユーモアたっぷりに話されました。今回の研修を通じて、日ごろの農業委員会活動で参考になったと声も多く上がっており、今後の活動の活性化が期待されるところで。

日野町農業振興施策に関する意見書の提出

2月24日、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、農地利用の最適化、担い手農家や農林振興公社等に対する支援策に関して、農業委員会から町長へ意見書を提出しました。



農作業中の事故にご注意を！

春の農繁期はトラクターや動力運搬車等の農業機械を使って作業を行う機会が増えることから、毎年、この時期から事故が発生しています。また、気温の上がる5月頃からは、熱中症による事故の発生もみられはじめます。

トラクターと動力運搬車による事故は発生件数、農作業事故の中でも高い割合となっています。安全に農作業ができるよう、家族や地域で声をかけましょう。

安全に農作業ができるよう、家族や地域で声をかけましょう！

